

新しい授業づくりの文化をつくる Update-A 「能力ベースの授業づくり実践講座」

令和6年6月3日実施 Update-A プラン通信 第8号 中国 授業研究会

—講座の目的—

- ①未知の問題場面に出会っても、解決に向けて行動できる汎用的な力(資質・能力)を子供たちに育むため、学習指導要領に基づいた授業づくりについて実践を通して主体的に学ぶ。
- ②教師同士のネットワークを構築し、講座での学びを吹田市内で広げるとともに、自校でのOJTに生かすことにより、学習指導要領に基づいた授業づくりの文化を築く。

—講座の目標—

吹田市の全小中学校が学習指導要領に基づいた授業づくりに取り組む。

中国授業研究会 6月3日(月)
教材名:『人間は他の星に住むことができるのか』

Aプラン「能力ベースの授業づくり実践講座」では、教材研究会と授業研究会を1セットとして実施しています。今回は中学校国語科の授業研究会を行いました。本時は、教材文を読み、論の展開の工夫を見つけ、自身が作成する説明文の主張を改めて考え直す展開でした。齊藤先生より、本実践の言語活動を整理していただきながら、能力を育む質の高い言語活動をいかに描くかについてご指導いただきました。

授業者の実践から学ぶ 授業づくりのポイント

「考えの形成」を目指す説明文の学習

→説明文の学習で期待されているのが「自分らしい思考の表出」です。中2段階では、「主張したいことをどのような論で進めるか」を考えることが重要です。その学びは中3での批評につながります。

INPUTとOUTPUTを往還させる言語活動

→国語で扱う4つの言語活動は、話す(out)⇔聞く(in)の音声言語と書く(out)⇔読む(in)の文字言語に分類できます。言語活動を設定する際には、OUTPUTとINPUTの関係を往還する授業を組み立てていくことが大切です。

授業者の提案

Why なぜ学ぶのか

子供達が身につけるべき資質・能力は？

【知識及び技能】

・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。

【思考力・判断力・表現力】

・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。
・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えること。
・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。

【学びに向かう力、人間性等】

・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

What 何を学ぶのか

子供達の学習対象は？

【本単元で学ぶ見方・考え方】

・言葉による見方・考え方を働かせる

【本単元で学ぶ学習過程】

①構造と内容の把握

②精査・解釈

③考えの形成

④共有

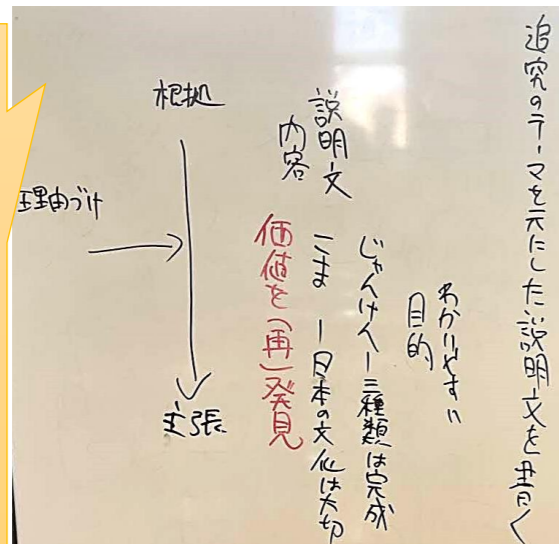
How どのように学ぶのか

子供達の学習過程は？

学習活動及び学習内容	
把握	第1、2時 文章全体の内容・構造解釈
精査 解釈	第3時 本論の内容吟味① 説明文と論説文の違いを踏まえながら、過去に学んできた説明文の本論の分析を行う。
課題解決 活動	第4、5(本時)時 本論の内容吟味②③ 「人間は他の星に住むことができるのか」の工夫点について
形成	第6時 説明文の作成 主張・根拠・理由を明確に表現を工夫した文章を書く
共有	第7時 説明文の共有 お互いに書いた文章を評価する

展開2
③自分が作る文章の「主張」は何かを考える
○自分が追究で調べ上げたことを伝える意味を考え、記入する。

終末
④今日の学びの振り返りを行う

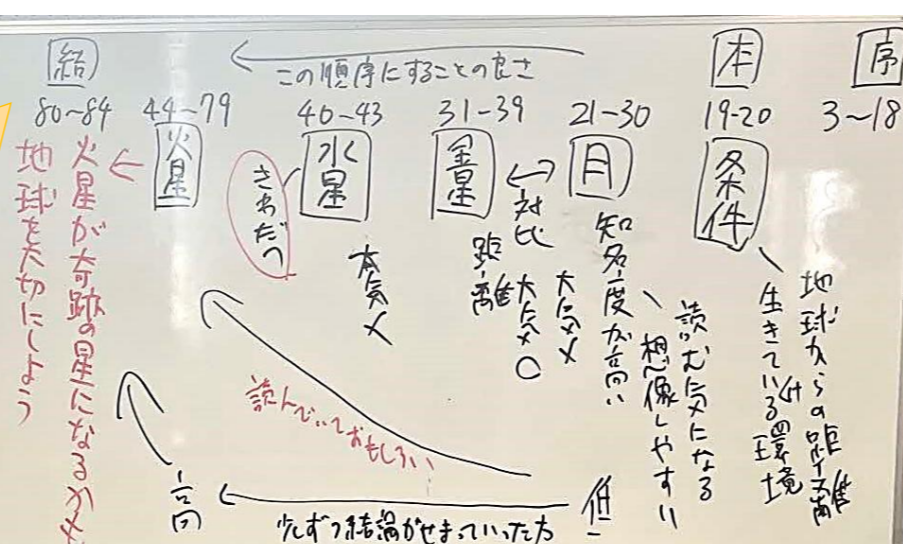


導入

①前時の復習
説明文と論説文のちがいは？
T 説明文の特徴とは？
T 表記面ではどのような工夫があるか？

展開1

②「人間は他の星に住むことができるのか」の論の展開の工夫を見つける



講師
NPO法人
エデュ・ネットワーク・プラン 代表理事
齊藤 一弥氏

横浜市立学校教諭、横浜市教育委員会勤務、横浜市立小学校校長、島根県立大学教授を経て、現職。
現行学習指導要領の作成に関わるとともに、高知県において学力向上総括専門官、教育課程推進専門官として授業改革に取り組み、成果を上げている。

齊藤先生のお話は、裏面へ

Why

なぜ学ぶのか
子供達が身につけるべき資質・能力は？

What

何を学ぶのか
子供達の学習対象は？

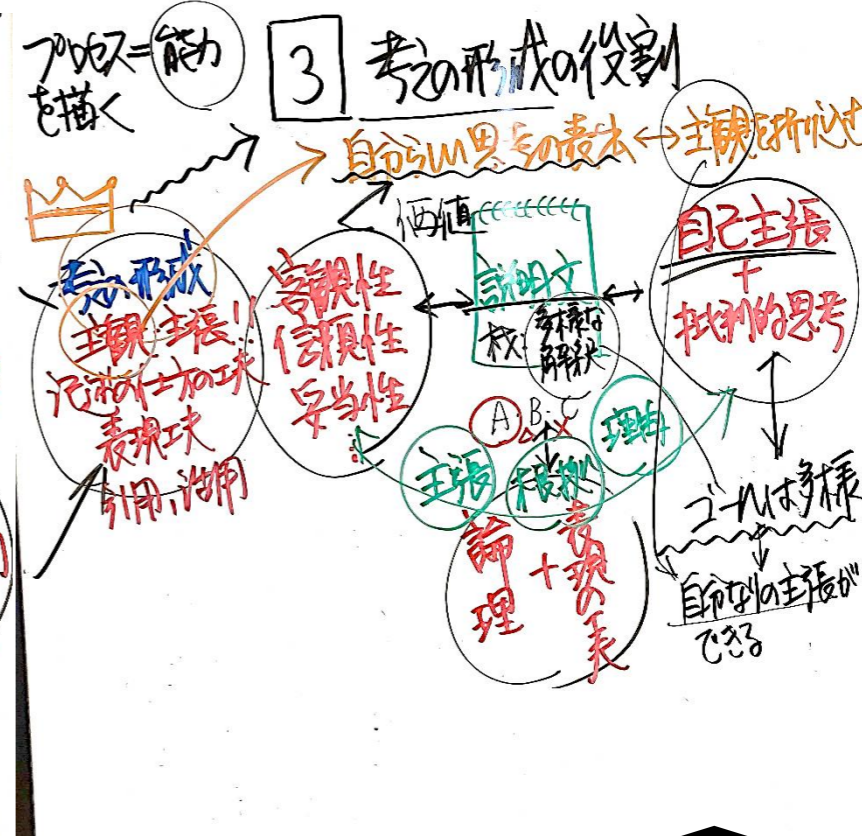
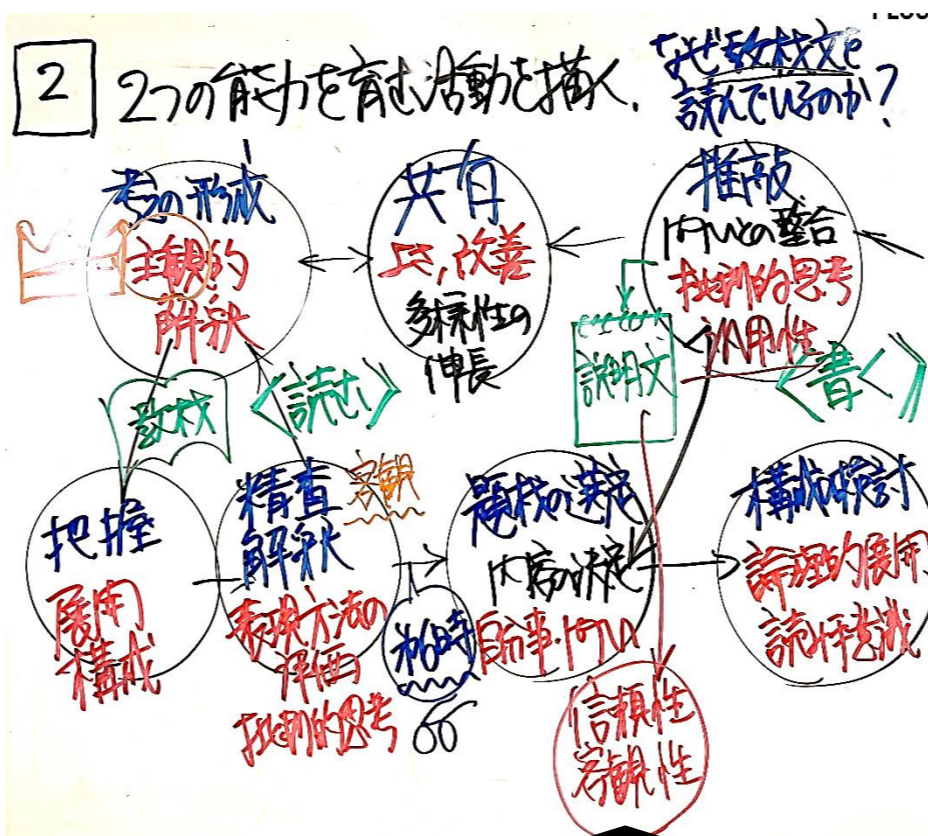
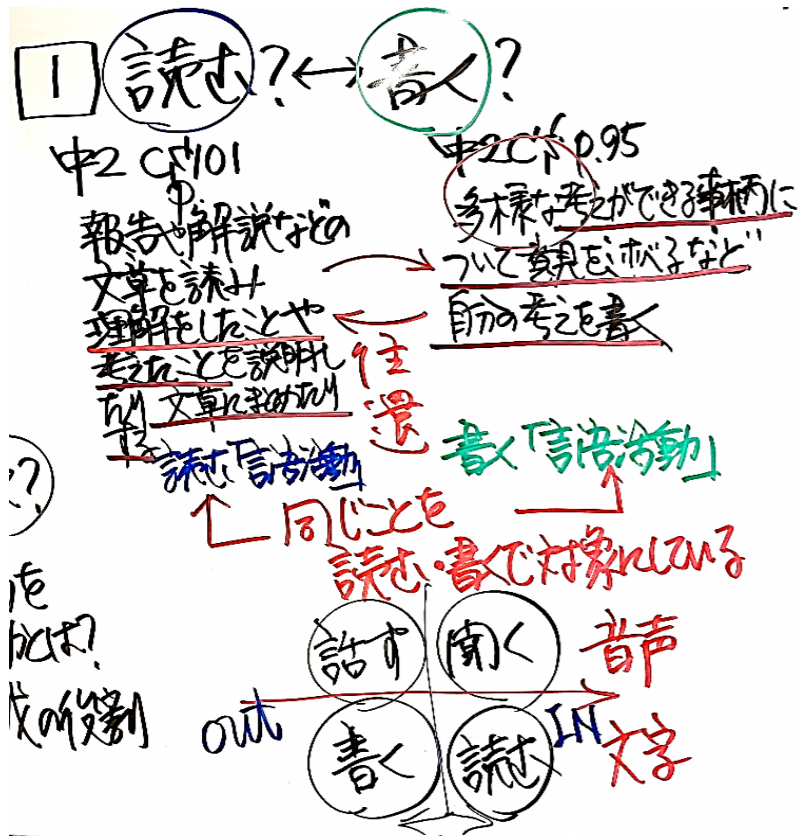
How

どのように
学ぶのか
子供達の学習過程は？

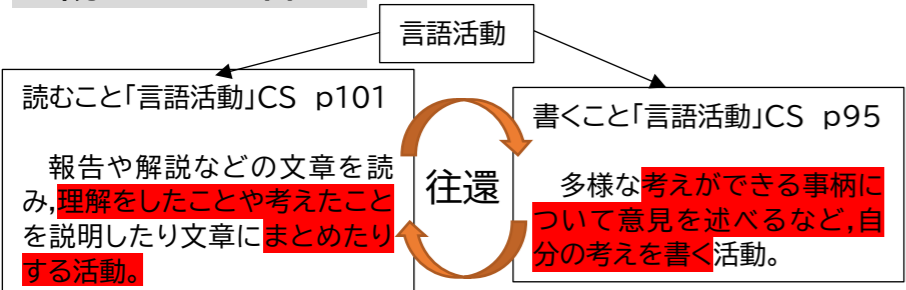
受講者の感想

●「生徒が言語活動を回さないといけない」という齊藤先生のお話は、私も常常悩んできたところです。もっと生徒に授業を委ねたいと自分を省みる時間でした。さらに言語活動について学びたいと思います。
(小学校教諭)

●本日の研修では、答えのない問いについて自分自身で考えを深められる力を育む大切さを学びました。社会科でも答えのない現代社会を見つめていく中で、子ども達の力を信じてみようと思えました。
(中学校社会科教諭)

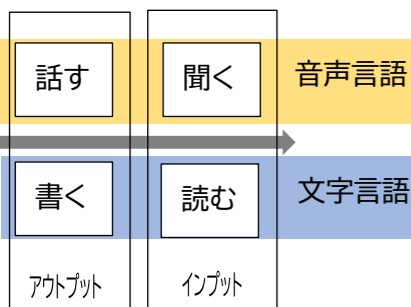


1 読む? ⇔ 書く?



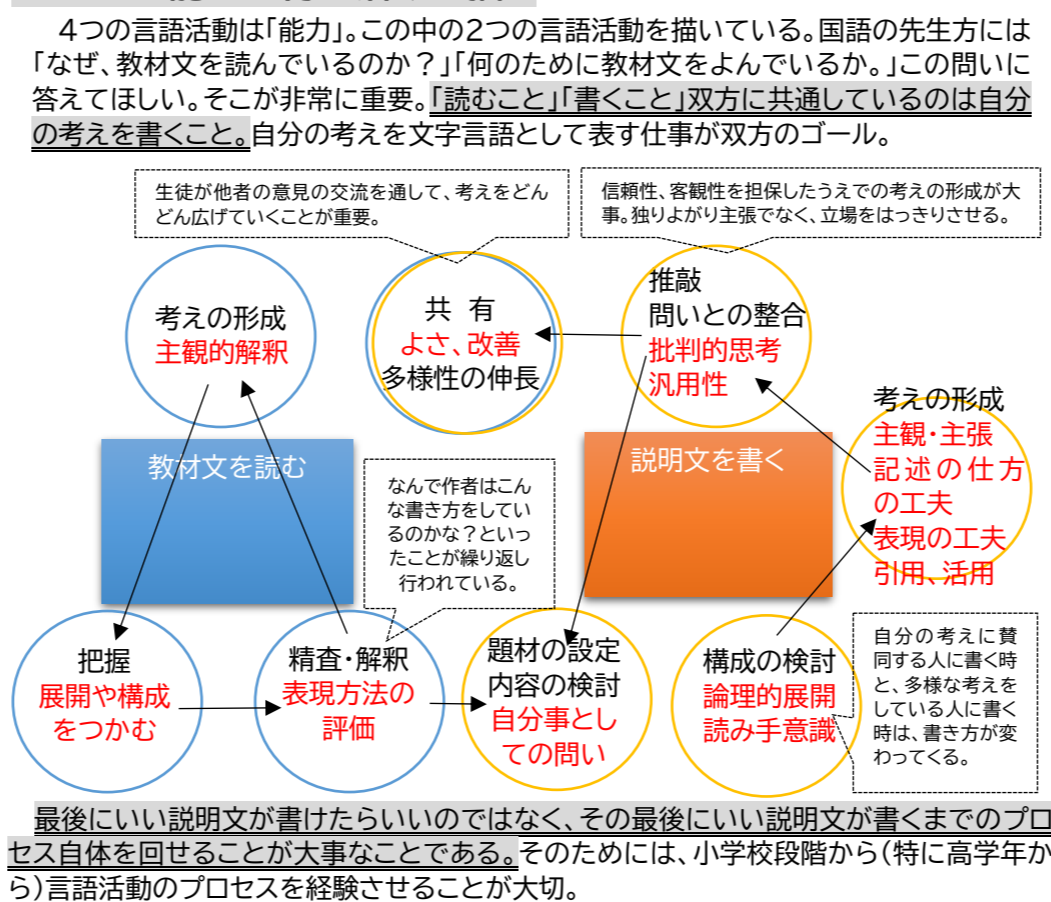
別物ではなく、どちらも「自分の考えを書く」ということ。生徒も、「読む」「書く」を行ったり来たりしている。

4つの言語活動の取り扱い



授業者の実践は、「読むこと」と「書くこと」の往還の関係。両方を視野に入れて授業を組み立てていくことが大事。

2 2つの能力を育む活動を描く



3 考えの形成の役割

